

第29回未来医療セミナー

補完代替医療（CAM）の 現代医療における意義と展望

大阪大学大学院医学系研究科
生体機能補完医学講座 教授

伊藤 壽記 先生

《要旨》

近年の医学・医療の進歩は平均寿命の延長をもたらし、疾病構造を急性から慢性疾患へとシフトさせた。その疾病のほとんどはがんや糖尿病を始めとする生活習慣病である。こうした変化を受けて医療費は年々増加し、医療保険制度は破綻の危機に瀕している。

一方、患者サイドにも変化が見られ、情報の急速な普及は自己健康管理を促し、行動意識を“受動”から“能動”へと変化させた。その結果、患者さんは価値判断の基準として、生活の質（QOL）を重視した医療を求めていることが明らかとなった。

ここに補完代替医療（CAM）という新たな領域が注目されているが、ほとんどが科学的根拠（エビデンス）に乏しい。今後 CAM が広く認知されるには、客観的指標としてのバイオマーカーを用いた、臨床試験によるエビデンスが不可欠となる。

講演では、CAM の現代医療における意義と展望につき述べ、我々の教室の取り組みについても紹介したい。

日 時 : 2007年4月25日(水) 18:00より

場 所 : 大阪大学医学部附属病院外来棟4階 第1カンファレンス室

連絡先 : 未来医療交流会(大阪大学医学部附属病院未来医療センター内)

Tel:06-6879-6557/6552, Fax:06-6879-6538

E-mail: koryukai@hp-mctr.med.osaka-u.ac.jp

協 賛 : 21世紀COE「細胞・組織の統合制御にむけた総合拠点形成」

-Center for Integrated Cell and Tissue Regulation-